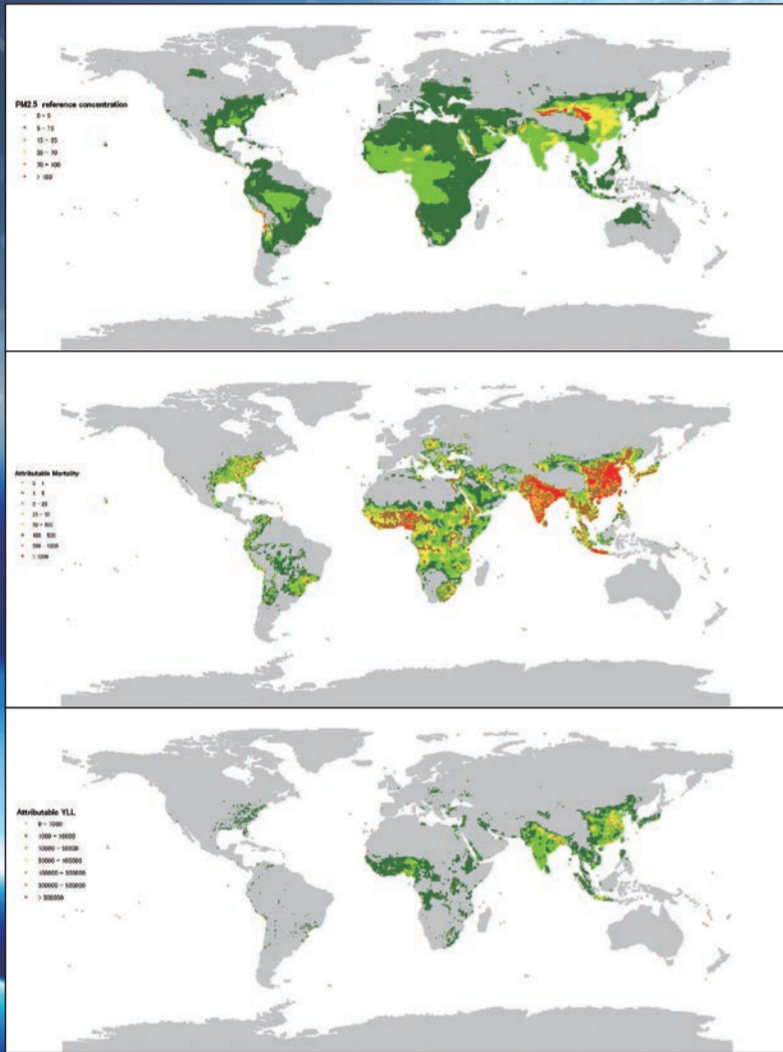


第4回 公開シンポジウム

# 地球温暖化と大気汚染による 影響の軽減に向けた新たな取り組み

## — 短寿命気候汚染物質 (SLCP) の影響評価とその削減対策 —



本プロジェクトで用いられた大気モデルにより推定された2010年のPM2.5濃度の分布(上図)とPM2.5関連死亡数(中図)、およびPM2.5関連障害調整生存年数(YLL)(下図)の分布。プロジェクトでは、SLCP排出やその削減に伴う健康への影響を評価している。

平成30年

1/23 火

日 時：13:30～16:30

場 所：京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホール(吉田キャンパス)

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r\\_y/](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/)

参加費  
無料

大気汚染物質は環境・気候変動に大きな影響を与えます。S-12プロジェクトでは、大気汚染物質の中で「短寿命気候汚染物質」(SLCP: Short-Lived Climate Pollutants)に注目しています。SLCPには、PM2.5の一部である煤(黒色炭素)、光化学オキシダントの主成分である対流圏オゾン、その対流圏オゾンの生成に寄与するメタンなどの、気候に与える影響が大きなものが含まれています。またSLCPが大気中に滞留する時間は、二酸化炭素などの長寿命温室効果ガスに比べて短くなっています。そのため、SLCPを削減することで、環境改善だけでなく、地球温暖化を抑制する効果もあり、国際的な取り組みも行われています。S-12プロジェクトでは例年公開シンポジウムを開催しており、第4回となる今回は西日本で初めて開催します。これまでの研究成果をもとに、より具体的なSLCP排出シナリオの検討結果を始め、過去から将来にかけての排出推定やSLCP削減による地域・地球規模での環境・気候影響評価についての最新の成果を公表し、今後の展望を議論します。

参加申し込み

お名前(ふりがな)、ご所属を明記の上、メールにてお申し込みください。

申し込み期限

平成30年1月9日(火)

申し込み先・問い合わせ先 E-mail

s-12\_staff@atthehost.env.kyoto-u.ac.jp

Program

13:30～13:40

ごあいさつ

環境省  
松岡 謙(京都大学名誉教授)

13:40～14:00

「S-12によるSLCPの排出シナリオと気候・環境影響の研究」

中島 映至(S-12代表、宇宙航空研究開発機構)

14:00～14:20

特別講演「南アジアから放出されるメタンの挙動研究

～2-1502 AMASAプロジェクトの成果から～

林田 佐智子(奈良女子大学)

14:20～14:40

「アジアにおける広域大気汚染：現状とその影響」

永島 達也(国立環境研究所)

14:40～15:00

「SLCPシナリオの構築と排出削減策による共便益効果・相殺効果」

花岡 達也(国立環境研究所)

15:00～15:15

〈休憩〉

15:15～15:30

「アジア地域の家庭部門からの大気汚染物質の排出量とその影響」

島田 洋子(京都大学)

15:30～15:45

「SLCPによる健康への影響」

上田 佳代(京都大学)

15:45～16:00

「SLCPの気候影響」

中田 真木子(近畿大学)

16:00～16:15

「SLCPと地球の水循環」

芳村 圭(東京大学)

16:15～16:30

総合討論・閉会

中島 映至(S-12代表、宇宙航空研究開発機構)

[司会：鶴田 治雄(リモート・センシング技術センター)]